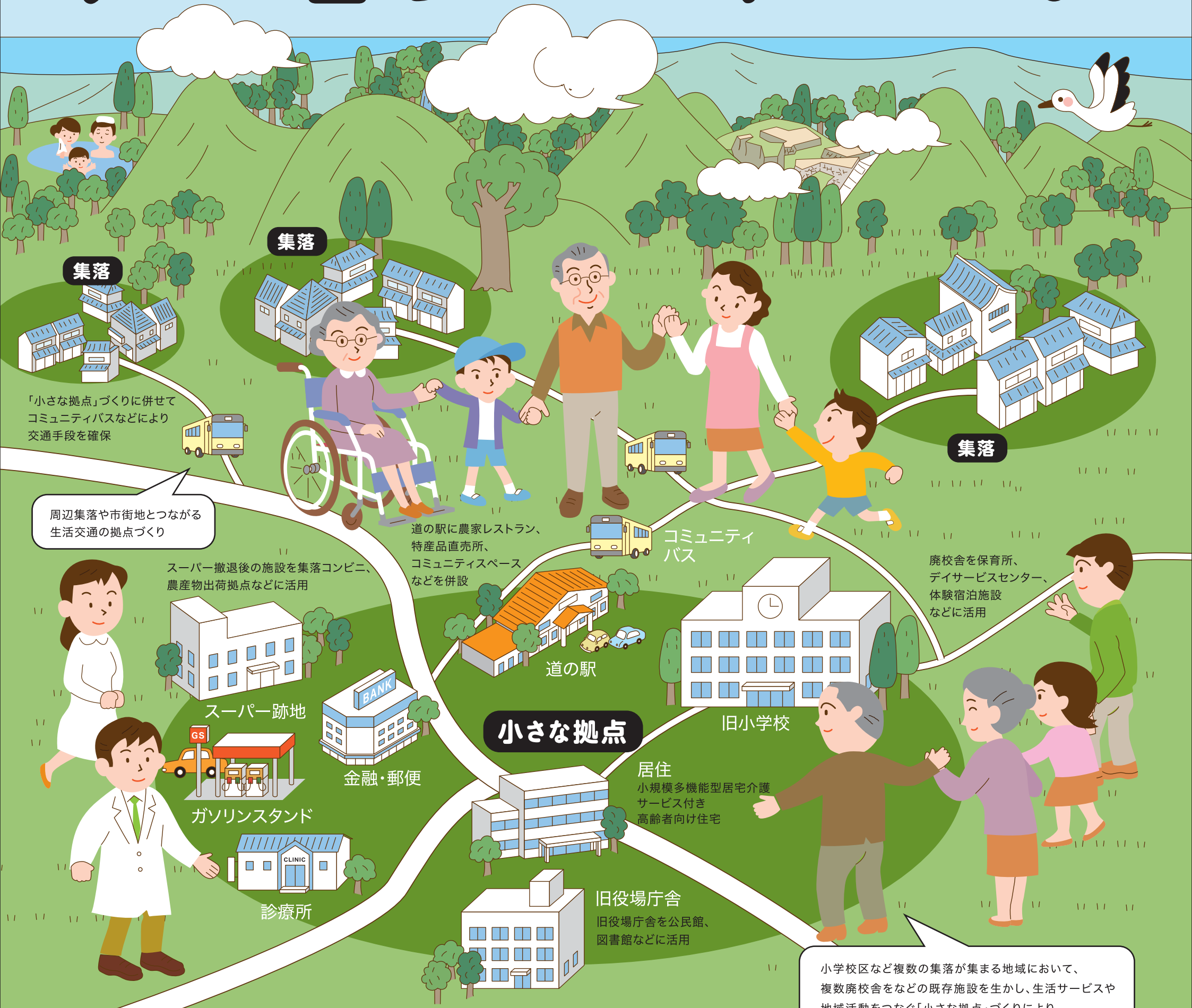


但馬の人口は、今後30年で半減することが予想されています。これは近い将来、但馬全域での現実となります。

医療需要は今後8割にまで落ち込み、介護需要は減少せず、25年間現状維持地域包括ケアの要となる一般診療所の医師の減少、介護人材が不足することが見込まれており、供給が需要に追いつきません。行政の社会保障財源も逼迫し、このままでは但馬で安心して暮らし、生涯を閉じることが出来なくなり、近い将来、医療・介護が崩壊します！



# この但馬でこれからも ずっと暮らしていくために。



## 医療と介護と地域を連携！

「但馬を結んで育つ会」は、但馬地域（兵庫県北部）において医療・福祉の包括的かつ継続的な提供体制を構築することを目的に設立されたNPO法人です。「この但馬でこれからもずっと暮らしていく」ために、医療・介護・福祉・行政および関連機関が強力に連携し、適切なサービスが切れ目なく効率的に提供される環境を整備しています。



特定非営利活動法人

但馬を結んで育つ会

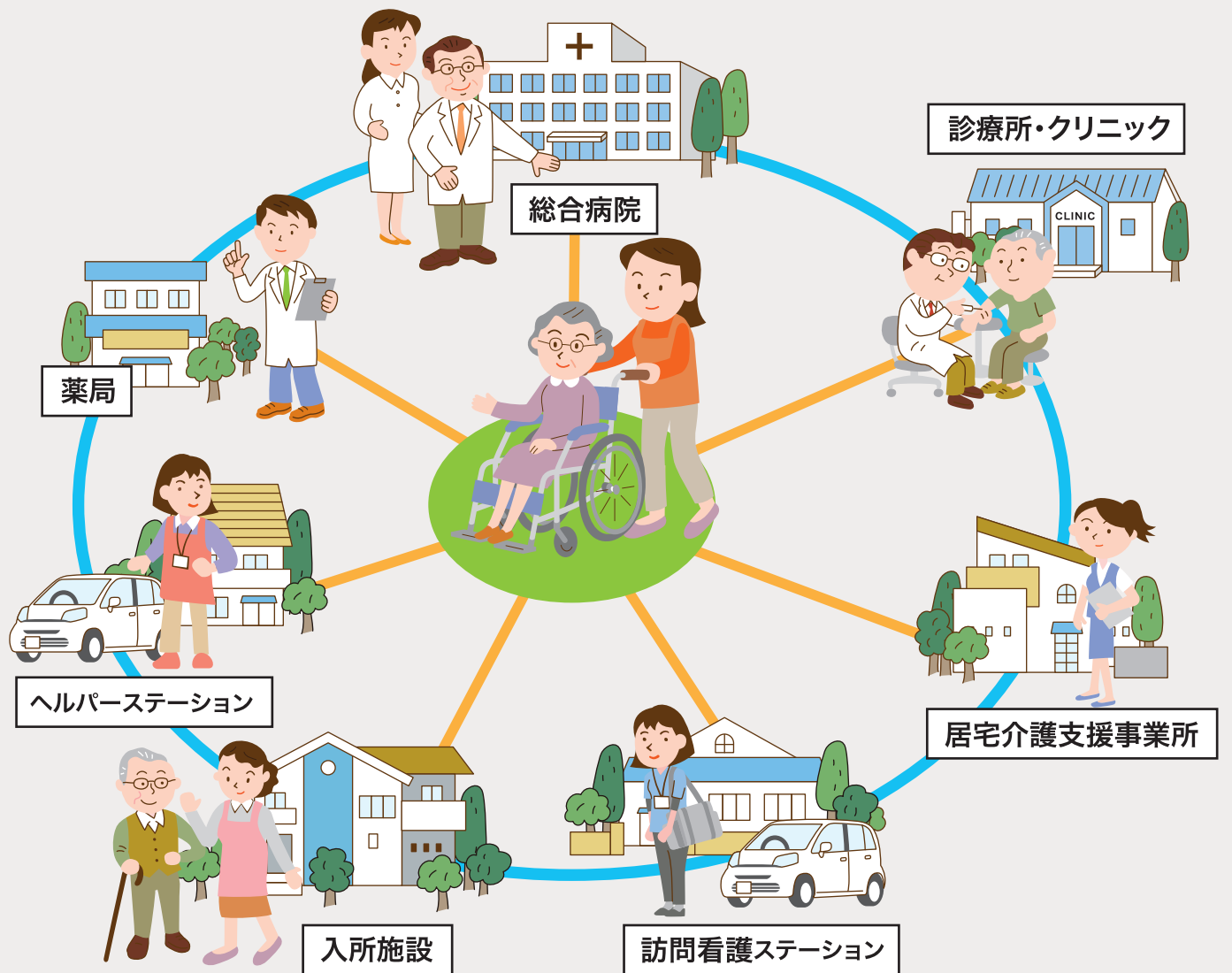
〒668-0052 兵庫県豊岡市九日町下町5-1 (法人本部)  
TEL:050-6876-6690 FAX:050-3588-7148  
メールアドレス:info@tms-net.org



# POINT 1

## まず、早急に進めたい「小さな拠点」づくり。

地域に医療を届けるためには、それを受ける体制作りも同時に必要です。旧中学校、小学校単位での小さな拠点を整備がそれにあたります。これを地域の社会共通資本とし、元々存在するインフラを再利用、中心に介護福祉が受けられる居住ならびに近隣の診療所、周囲にスーパーや金融などの商業サービスを配置し、里山から自由に往来可能な交通を確保し、疾病、身体状況や家庭の状態に応じて、どちらにでも居住できるように選択でき、住み慣れた土地で生活が続けていける環境を目指します。



# POINT 2

## 地域で暮らすには、「衣食住」だけでなく医療福祉と交通の提供が重要。

そのために旧町単位で「小さな拠点」の構築と拠点相互の連携＝医療介護視点でのまちづくり、急性医療、都市へのアクセスを含めたモビリティの構築。

